

# 平成26年度 大分市公共下水道事業会計 決算ポイント

## 経営状況等

平成26年度大分市公共下水道事業会計決算につきましては、収益的収支で約7千9百万円の純損失を計上しましたが、翌年度への繰越金は約13億円を確保しました。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、単年度の建設改良費を汚水30億円、雨水を合わせても40億円以内に抑えるとともに、平成29年度には収益的収支を黒字化する等の目標達成に向け、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上をはじめ、業務執行方式の見直し、職員の適正配置等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

## 大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成26年度決算
人口普及率	61.9%	60.8%
水洗化率	91.7%	89.2%
収支バランス	収益的収支を「黒字」	79,434千円の赤字
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	516,108千円

※平成25年度に平均改定率13.0%の使用料改定を実施し、平成29年度に再度13%程度の改定を計画している。

## 平成26年度 決算の状況

(単位：千円)

区分	平成26年度	平成25年度	増減	説明
収入	11,911,553	8,474,926	3,436,627	使用料収入 5,339,202 基準外繰入金 516,108
支出	11,862,358	8,142,240	3,720,118	
収益的収支	49,195	332,686	△283,491	
当期純損益(消費税抜き) ※平成25年度は純利益 ①	△79,434	204,462	△283,896	
収入	6,524,503	5,285,255	1,239,248	国庫補助金 1,729,304 企業債 3,093,000
支出	9,810,810	8,652,764	1,158,046	建設改良費 3,787,110 企業債償還 5,667,877
資本的収支 ②	△3,286,307	△3,367,509	81,202	
補てん財源				
前年度からの繰越金	1,131,039	751,731	379,308	
当年度損益勘定留保資金	3,540,926	3,449,885	91,041	長期前受金戻入を除く
計 ③	4,671,965	4,201,616	470,349	
翌年度への繰越金 ①+②+③	1,306,224	1,038,569	267,655	

## 主な事業

≪ 収益的収支 ≫ 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支

(主な支出)

- 水資源再生センター包括維持管理業務委託 1,182,384 千円
- 汚泥運搬・処分業務委託 453,464 千円
- 使用料徴収事務委託料 249,046 千円

≪ 資本的収支 ≫ 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

(主な支出)

- 汚水管渠建設費(新設) 1,228,927 千円
- 西部新川汚水幹線管渠改築工事(長寿命化) 47,209 千円
- 明野地区マンホール改築工事 64,505 千円
- 弁天水資源再生センター水処理施設増設関連工事 1,869,576 千円

(平成25年度～平成27年度 実施事業)

## 企業債残高の状況

(単位：千円)

区分	平成26年度			平成25年度	増減
	汚水	雨水			
企業債残高(決算額)	93,338,288	63,683,540	29,654,748	95,912,865	△2,574,577
うち建設企業債	80,896,066	53,954,888	26,941,178	83,849,693	△2,953,627
うち資本費平準化債	12,442,222	9,728,652	2,713,570	12,063,172	379,050